



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月8日

東

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所
コード番号 3059 URL <https://company.hiraki.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)伊原 英二
問合せ先責任者 (役職名)取締役現業支援本部長 (氏名)姫尾 房寿 (TEL) (078)967-4601
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,842	△5.9	39	△79.5	34	△84.4	15	△89.2
2023年3月期第2四半期	7,270	△7.3	194	△61.5	220	△55.9	139	△58.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 99百万円(△43.6%) 2023年3月期第2四半期 175百万円(△40.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	3 08	—
2023年3月期第2四半期	28 60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,453	7,503	43.0
2023年3月期	16,438	7,452	45.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 7,503百万円 2023年3月期 7,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00
2024年3月期	—	10 00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	△2.7	160	3.2	150	△20.5	100	△10.5	20 54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	5,155,600株	2023年3月期	5,155,600株
2024年3月期2Q	288,193株	2023年3月期	288,193株
2024年3月期2Q	4,867,407株	2023年3月期2Q	4,870,807株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されるなど移動制限の緩和等により経済活動の正常化が進む一方、円安の進行や長期化するウクライナ情勢を背景とした資源価格の高騰などにより景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは2021年度～2023年度を計画期間とする中期経営計画において、2023年度の経営方針を「原点経営の推進」とし、事業の中核であるオリジナル商品をさらに磨き上げることにより、通信販売・店舗販売・卸販売各事業を通して、お客様に「驚き」「楽しさ」「満足感」を提供すべく事業展開を推し進めてまいりました。しかしながら、中核事業である通信販売事業の売上高が前年同期を下回った結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、68億42百万円(前年同期比5.9%減)、営業利益39百万円(前年同期比79.5%減)、経常利益は34百万円(前年同期比84.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15百万円(前年同期比89.2%減)となりました。

当社グループの報告セグメントの当第2四半期連結累計期間における業績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、商品面では春夏シーズンに続き、秋冬シーズンの「ビットローファー」、「新・JOG軽」のほか低価格の衣料関連販売促進商品を投入いたしました。また、「3年分の夏を取り戻そう」と銘打ってサンダルを応援価格にて提供いたしました。販売促進面では、テレビCM・インフルエンサーによるPR投稿のほかクーポン懸賞の靴祭りキャンペーン等を実施し、新規顧客の獲得および既存顧客のリピート拡充に努めてまいりました。しかしながら、価格改定が寄与し購入単価は微増したものの、販売促進商品が全体の受注を牽引するに至らず、物価高による実質賃金の低下といった外部環境の変化の中で、商品の価値を魅力的かつ効果的に表現することが十分にできなかったことも影響し、受注件数が前年同期を下回りました。この結果、売上高は33億99百万円(前年同期比14.3%減)となりました。利益面は、売上総利益率は前年同期並みを確保し販管費の削減を図りましたが、減収によりセグメント利益は1億70百万円(前年同期比48.7%減)となりました。

② 店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行ならびに昨年11月に岩岡本店、本年8月に姫路店でオープンしたおかし館効果により、来店客数は第2四半期も増加基調で推移しました。靴の売上高は、7月にオープンした「リノアス八尾店」等靴専門店の堅調な売上伸長により、オリジナル商品・国内商品ともに前年同期を上回りました。また、来店客数の増加が衣料・食品部門等へも波及し、前年同期を上回る売上高を確保しました。この結果、売上高は33億22百万円(前年同期比5.5%増)となりました。利益面は、人件費等の増加による販管費増を増収によりカバーし、69百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、第1四半期の推移と同様、大卸しおよび新規取引先の受注は堅調に推移した一方で、主力取引先における大口スポット受注の減少が影響し、売上高は1億20百万円(前年同期比20.7%減)となりました。利益面は、売上総利益率の改善により、セグメント損失は2百万円(前年同期は損失11百万円)と縮小しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ11億47百万円増加し、119億20百万円となりました。これは、現金及び預金が19億92百万円増加し、商品が4億86百万円、売掛金が2億67百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億32百万円減少し、55億33百万円となりました。これは、建物及び構築物が87百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ10億14百万円増加し、174億53百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億94百万円増加し、38億7百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が1億39百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ7億69百万円増加し、61億43百万円となりました。これは、長期借入金が7億64百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億64百万円増加し、99億50百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ50百万円増加し、75億3百万円となりました。これは、その他の包括利益累計額合計が84百万円増加し、利益剰余金が33百万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント低下し、43.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ6億92百万円増加し、33億21百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、11億64百万円(前年同期は3億8百万円の使用)となりました。これは主に、棚卸資産の減少額5億7百万円、売上債権の減少額2億68百万円、減価償却費1億49百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、13億6百万円(前年同期は16億34百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出13億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、8億33百万円(前年同期は7億19百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入20億円、長期借入金の返済による支出10億95百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期業績予想に関しましては、本日別途開示の「業績予想と実績との差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,728,799	7,721,382
売掛金	938,670	670,873
商品	3,790,762	3,304,394
未着商品	53,851	32,610
貯蔵品	13,214	13,289
その他	255,930	183,856
貸倒引当金	△7,925	△6,100
流動資産合計	10,773,304	11,920,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,036,783	1,949,185
土地	3,098,931	3,098,931
その他（純額）	157,832	137,413
有形固定資産合計	5,293,547	5,185,530
無形固定資産	100,718	85,198
投資その他の資産	271,396	262,695
固定資産合計	5,665,662	5,533,424
資産合計	16,438,967	17,453,731
負債の部		
流動負債		
買掛金	708,950	613,212
1年内返済予定の長期借入金	1,943,116	2,082,686
未払法人税等	12,379	37,679
賞与引当金	111,985	120,856
役員賞与引当金	-	3,750
契約負債	19,463	19,120
その他	816,968	930,140
流動負債合計	3,612,863	3,807,444
固定負債		
長期借入金	5,049,956	5,814,801
退職給付に係る負債	189,356	197,712
資産除去債務	35,711	49,765
その他	98,452	80,838
固定負債合計	5,373,476	6,143,117
負債合計	8,986,339	9,950,561

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	5,947,044	5,913,373
自己株式	△154,633	△154,633
株主資本合計	7,391,853	7,358,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,753	27,197
繰延ヘッジ損益	36,688	105,563
為替換算調整勘定	14,332	12,226
その他の包括利益累計額合計	60,774	144,987
純資産合計	7,452,627	7,503,169
負債純資産合計	16,438,967	17,453,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,270,355	6,842,370
売上原価	3,883,118	3,708,456
売上総利益	3,387,236	3,133,914
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	847,884	853,796
貸倒引当金繰入額	3,634	1,582
給料手当及び賞与	849,799	848,450
賞与引当金繰入額	122,886	120,856
その他	1,368,944	1,269,422
販売費及び一般管理費合計	3,193,150	3,094,109
営業利益	194,086	39,804
営業外収益		
受取利息	4,152	3,380
受取配当金	1,261	1,211
為替差益	15,129	-
受取補償金	11,237	11,302
受取手数料	5,137	7,053
その他	4,751	6,253
営業外収益合計	41,671	29,201
営業外費用		
支払利息	13,837	14,275
為替差損	-	20,200
その他	1,288	147
営業外費用合計	15,126	34,623
経常利益	220,631	34,382
税金等調整前四半期純利益	220,631	34,382
法人税、住民税及び事業税	82,523	24,062
法人税等調整額	△1,175	△4,682
法人税等合計	81,347	19,380
四半期純利益	139,283	15,002
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,283	15,002

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	139,283	15,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,422	17,443
繰延ヘッジ損益	39,977	68,875
為替換算調整勘定	△4,759	△2,106
その他の包括利益合計	36,640	84,213
四半期包括利益	175,924	99,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,924	99,215
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	220,631	34,382
減価償却費	139,162	149,675
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△706	△1,825
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,589	8,871
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,000	3,750
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	623	8,355
受取利息及び受取配当金	△5,414	△4,592
支払利息	13,837	14,275
為替差損益 (△は益)	△395	△462
売上債権の増減額 (△は増加)	135,450	268,041
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△640,493	507,534
仕入債務の増減額 (△は減少)	34,358	△97,152
契約負債の増減額 (△は減少)	100	△343
その他	△150,502	258,157
小計	△243,758	1,148,668
利息及び配当金の受取額	5,779	4,911
利息の支払額	△13,984	△14,665
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△56,519	25,826
営業活動によるキャッシュ・フロー	△308,481	1,164,741
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,200,000	△1,300,000
定期預金の払戻による収入	600,000	-
有形固定資産の取得による支出	△6,263	△4,635
有形固定資産の売却による収入	27	63
無形固定資産の取得による支出	△26,780	-
投資有価証券の取得による支出	△351	△250
その他	△854	△1,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,634,222	△1,306,677
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,900,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,110,966	△1,095,585
配当金の支払額	△48,724	△48,670
その他	△20,415	△22,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	719,893	833,251
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,062	1,266
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,219,747	692,583
現金及び現金同等物の期首残高	3,056,660	2,628,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,836,913	3,321,382

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,969,293	3,149,333	151,728	7,270,355	—	7,270,355
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,969,293	3,149,333	151,728	7,270,355	—	7,270,355
セグメント利益又は損失(△)	331,941	67,318	△11,062	388,197	△194,111	194,086

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△194,111千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当社グループの売上高は、受取家賃19,822千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,399,887	3,322,138	120,344	6,842,370	—	6,842,370
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,399,887	3,322,138	120,344	6,842,370	—	6,842,370
セグメント利益又は損失(△)	170,145	69,496	△2,031	237,609	△197,804	39,804

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△197,804千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当社グループの売上高は、受取家賃19,966千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。